



中小企業憲章制定、2010年5万名会員へ向けて

>>>>> 同友会の組織強化と情報化戦略

組織活動支援システム *e-doyu* のご案内

2005/8 e-doyuブロック別説明会
中小企業家同友会全国協議会

e-doyuとは？

組織活動支援システム

「e-doyu」(イー・ドュー)

2005年9月にリリースします

- 支部活動で運用することで、会員による支部の自主運営を可能とし、常に同友会の最新情報を共有できる民主的な環境を同友会として提供することができます。
- 例会等の参加登録が簡便になり、参加状況を共有できます。また、返信のない方への催促メールも出すことができ、参加促進にも有効です。
- 事務局と役員の役割を明確にしてすすめることで、事務局実務と通信経費を軽減できます。
- アンケート機能などを活用し、会員の声を即座に集約し分析することで、政策活動では行政への交渉力が高まります。
- 中小企業経営者としてこのようなツールを使いこなすことで、自らの会社組織の運営にも発展的に応用することができます。

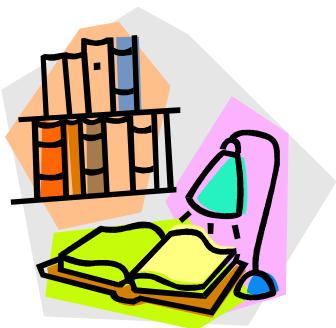


e-doyu導入の意義1 会員間でいつでも情報共有

○ 例会だけではない会員間の情報交換の場

- **会員間で同友会の“今”の新鮮な旬の情報が共有できます。**
会報誌に頼っていた同友会の情報の収集・提供の環境から、“今”必要な新鮮な情報をいつでも即座に収集・提供することができます。 掲示板機能、案内連絡機能、文書管理機能
- **会員の属性ごとにパーソナルな情報を提供できます。**
会員は支部や地区、委員会や役員など様々な組織に属していますが、提供情報を会員の所属する組織によって区別できます。 個人単位の任意のグループ化
- **情報の氾濫にも対応できます。**
迷惑メール氾濫によって、メールでの情報提供は限界にきています。e-doyuは会員に不要な情報を一切省いた情報の提供を可能にします。 掲示板機能、文書管理機能

**同友会運動の旬な情報を共有する
その会員だけの個別な情報環境を提供します**



e-doyu導入の意義2 会員の声を即座に集約

○ 会員の状況を、声をまとめて地域へ世界へ発信

- 会員の経営環境などを収集・分析し、会員の“今”を知ることができます
従来の景況調査やアンケートなどの作業やコストを大幅に削減し、精度の高い情報を即座に得ることができます。事務局の実務負担を軽減しながら、同友会ならではの情報を創造することができるようになります。
- 世界に類を見ない中小企業団体になります
分析結果は地域や業種・業態・規模などの属性で多次元分析が可能となり、地域行政や国への施策提言の“大きな力”を持つこととなり、中小企業団体として日本に限らず世界でも例を見ない提言団体としての地位を築きます。



**日本の中小企業の経営環境を
同友会が変革・主導します。**

e-doyu アンケート機能

アンケート新規登録画面

[一覧に戻る](#)

*は必須項目

タイトル: *

質問1:

選択肢: +01. +02.
 03. 04.
 05. 06.
 07. 08.
 09. 10.

回答形式: 回答はひとつだけ選択可能 回答は複数回答選択可能
 その他の回答を許可する

質問を追加する

- ・一回のアンケートで複数の質問が可能
- ・指定の組織に対してのみ限定してアンケートを行うことが可能。

対象グループ: *複数選択可
 [全てのメンバー]
 Administrator
 内田市
 市長
 教育長

期間: 手動でアンケートを終了する
 次の日時にアンケートを終了する
 2003年 5月 8日 23:00

匿名性: 回答者の名前を表示する
 回答者の名前を表示しない

結果報告1: 結果を全てのメンバーにメールで知らせる
 結果をアンケート作成者のみメールで知らせる

結果報告2: 終了するまで結果を発表しない
 常に途中経過を表示する

メールでの通知: 電子メールで全メンバーに本アンケートを通知する

アンケート

各アンケートの回答をクリックすると選択したアンケートの回答が行えます。
 変更・削除・状態の変更はアンケート作成者のみが行うことができ、
 終了したアンケートは回答結果のみ参照できます。

[アンケートを新規登録する](#)

*はアンケート作成者のみの機能です。

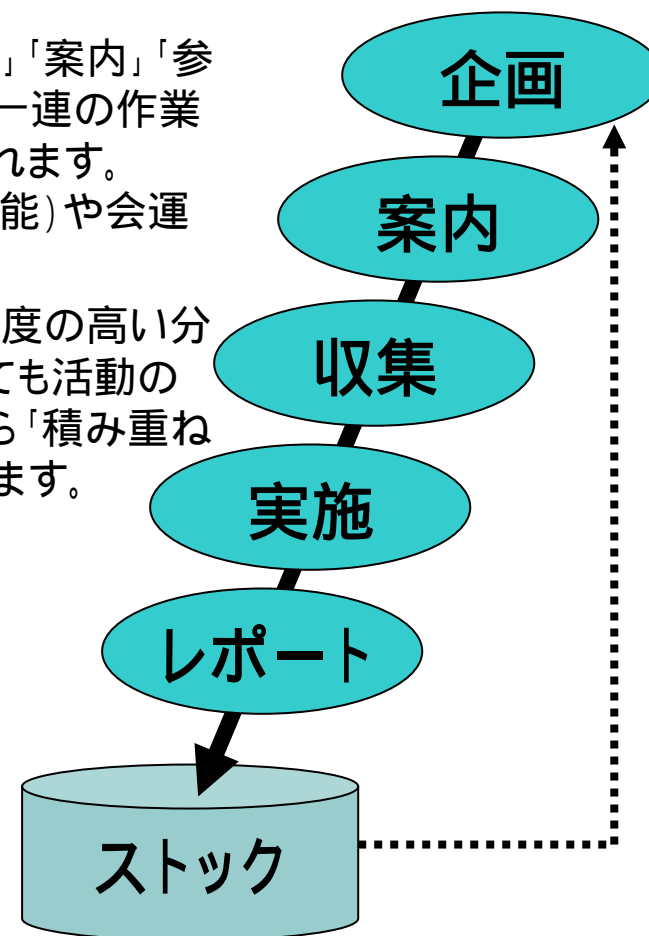
1/6

タイトル	投票者数	回答	結果	状態	編集	削除	作成者
〇〇の件について	0人	回答する	結果報告	受付終了			上田芳栄
チャレンジ問題	9人	回答済み	結果報告	受付終了			上田芳栄
職員意識調査	2人	回答済み	結果報告	*	*	*	西尾浩
意識調査	2人	回答済み	結果報告	受付終了			上田芳栄

e-doyu導入の意義3 同友会の知恵を集積

- 例会参加案内の配信や参加集約、報告など、組織活動に必要な業務を定型化し、処理を簡便にします
 - 各組織における例会や会議などの「企画」「案内」「参加登録」「集約」「実施」「レポート」などの一連の作業を定型化することで、組織運営が革新されます。参加登録の簡素化(FAXによる案内も可能)や会運営の透明化が実現できます。
 - ストックされた情報の全文検索により、精度の高い分析と企画が行えることで、役員が変わっても活動の資料は蓄積は継承され、「ノコギリ型」から「積み重ね型」の会の運営・運動の促進が期待できます。

高度な組織活動が
精度高く実施できます



e-doyu スケジューラー & 行事参加登録機能

月表示/日表示/週表示/在席表示の切替えでスケジュール照会できます。

所属組織ごとの他ユーザの予定を閲覧

2003年04月

2003年04月 企画政策課

2003年04月14日 “上田芳栄”様のスケジュール詳細

未回答者一覧の「催促メール」ボタンをクリックすれば、スケジュールの承諾・辞退を問う催促メールが未回答者のみに送信されます。
この予定は「出席」しています。変更希望の場合は「出席に変更」のボタンをクリックして下さい。

[当日予定]

開始日時: 2003年4月14日 14時 00分
終了日時: 2003年4月14日 15時 00分
件名: 会議定例会議
場所: 第三会議室
担当部署名:
メッセージ:

出席者(承諾者)
上田 芳栄[登録者]
内田 啓聖
西尾 浩

辞退者
角野 秀樹
・研修会のため欠席します。

未回答者
渡辺 博樹

この予定をコピーして新しい予定を登録する > コピー
この予定の登録者なので編集が可能です > 編集

出席者・辞退者・未回答者一覧
未回答者には催促メールが送れます。

組織・個人に対しての行事参加依頼を送ることができます。

個人スケジュールや指定したグループだけへの予定登録等決定できます。

予定 出席者の空き時間 内容を確認する

開始日時: 2005年 2月 15日 9時 0分
終了日時: 2005年 2月 15日 10時 0分
終日: 終日の予定

+ 繰り返しパターン この予定は繰り返しません。

タイトル: 重要度: 標準

場所:

プロジェクト: [プロジェクトが関わる場合は選択して下さい。] 全プロジェクト表示

作業:

添付ファイル: ファイルのアップロード ◆スケジュールに添付できるファイルは3枚までです。
コメント:

+ 施設予約 この予定に同時施設予約は設定されていません。

- 出席依頼を出す

全グループ 検索 全件表示

出席者: 子モサイト 管理者

任意出席者:

+管理
+営業
+人事
+レクリエーション委員会
佐々木和博
三水七子
新藤剛士
野茂英男

- アラームメール

アラームメールを利用しない。
 アラームメールを利用する。 [予定の15分前] に送る

<アラーム機能ご注意>

- メール着信時間は、指定された時間より誤差が生じる場合があります。
- 携帯電話等の圏外の場合は、メールは届きません。
- 送信者は 7-days.jp アラームサービス (Alertm@7-days.jp)となります。
- 携帯電話でのフィルタ使用時は、@7-days.jpを必ず設定して下さい。
- 電波の状況等により、メールが届かない場合があります。
- 受信者の迷惑となるメールは絶対に送らないでください。

- 予定の公開

- 予定は公開されます。だれでも予定の内容を見ることができます。
- 予定は「予定あり」と表示されます。いつの予定か他の人には分かりませんが、内容を見る事はできません。
- 予定はプライベート(非公開)となります。自分(登録者)だけが見ることができます。
- 予定は下記で指定のグループにのみ公開されます。

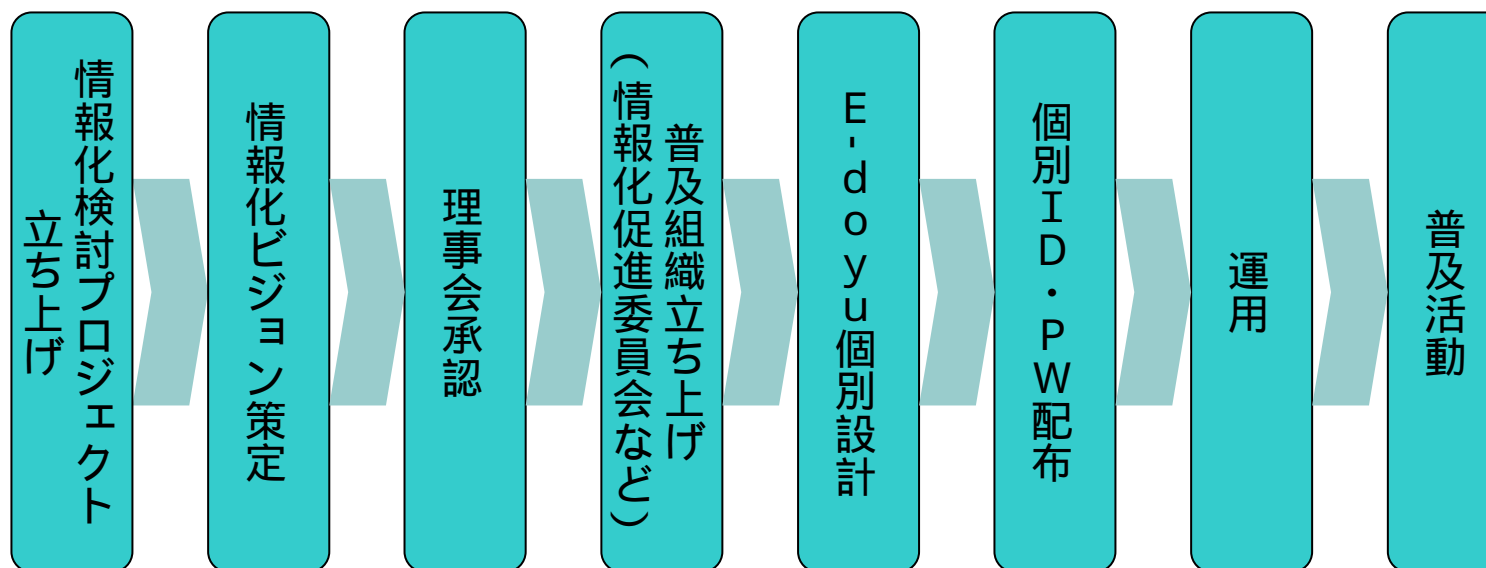
管理
営業
人事
レクリエーション委員会

内容を確認する

導入の流れ（兵庫同友会の場合）

○ 導入までの基本的な流れ

- 情報化ビジョンの策定・提案・承認
- 普及組織の立ち上げ
- e-doyuの設計(組織ごとに)
- 事務局の役割の明確化と認知(事務局が管理し、会員が普及する原則)



中同協による導入支援

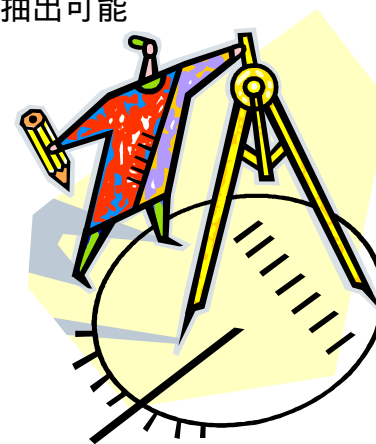
- 各同友会の導入に際し、中同協が支援します。
 - 各地の導入に際し、問題点や課題解決に向け支援を行います。
 - 情報化ビジョン作成支援
 - e-doyu推進プロジェクト(2005年6月発足)への参加による相互活動交流
 - e-doyuの個別設計支援
 - 会員管理システムの提供(ASPでの提供を検討)
 - 2005年8月にはe-doyuブロック別説明会
 - 個別導入相談など



組織活動支援システムe-doyuの仕様

実装機能

- 掲示板機能
 - 記事の作成・閲覧・フォロー作成・ファイル添付・検索および組織ごとの設置ならびにメール配信機能
- スケジューラー機能
 - 所属組織のスケジュール一覧・個人スケジュール・行事の出欠・未返信状況の表示
- 文書管理機能
 - 組織ごとに管理者設置可、階層ディレクトリー作成可、フィルダ毎の権限設定に加え、文書の全文検索が可能
- 案内連絡機能
 - 管理者からの案内メールの配信、電子メールのない会員向けにFAX番号リストを抽出可能
- 行事参加登録システム
 - 管理者が行事登録と案内連絡、電子メールのない会員向けにFAX番号リスト抽出可能
 - 登録状況の閲覧に加え未返信・出席・欠席区分ごとに再送が可能
 - 許可された他の組織への参加登録が可能
 - 一般参加者向けに外向きのホームページからの参加登録が可能
- アンケート機能
 - 管理者が個別に設定したアンケートの作成・配信・終了・削除・集計が可能
 - 集計データはcsv形式で任意会員属性を添付した形式でダウンロード可能
- 携帯電話(モバイル)に対応
 - 携帯電話からの閲覧・回答・入力・削除が可能



e-doyu 携帯電話対応で、いつでも同友会



ケータイ (i-mode) にも対応



やっぱり便利!

誰もが手軽に利用する携帯電話。もちろん、7-daysはケータイにも対応しています。

The image displays several mobile phone screens showing the e-doyu interface. The screens are arranged to show different parts of the application:

- デモサイト (体験版) 三水七子**: A menu with options like ① 掲示板, ② アドレス帳, ③ スケジュール, ④ 仕事管理, ⑤ 電子会議室, ⑥ WEBメール, ⑦ 施設予約, ⑧ ワークフロー, and ⑨ ユーザー名簿.
- 三水 七子 スケジュール P**: A calendar view showing dates 03/07/29, 03/07/28, and 03/08/01 with event details.
- メールボックス表示**: A list of messages with titles like "1. 給食をドル建てにしませんか" and "2. なんでもいい".
- 仕事一覧**: A list of tasks with details like "MEETING 期限:2003-01-23 優先度:<中>".
- メールの作成**: A screen for composing emails with fields for recipient and subject.
- 受信メール一覧**: A list of received emails with details like "件名:MEETING 優先度:<中>".
- 施設予約**: A screen for booking facilities with a dropdown menu for "第一会議室".
- 物件詳細**: A detailed view of a meeting with fields for name, priority, start/end dates, and location.

ケータイでは、「電子掲示板」「スケジュール」「行事参加登録」などの機能が利用できます。事務局管理者は「施設予約」で同友会会議室の空状況の確認・登録も。

* ケータイでの適切な表示をさせるために、Web画面と同じではありません。また、シンプルに機能を軽減しているアプリケーションもあります。

The screenshot shows the '予約登録' (Reservation Registration) form with the following fields and options:

- 開始日:** 2003年 8月 21日
- 開始時間:** 9時 0分
- 終了日:** 2003年 8月 21日
- 終了時間:** 21時 0分
- タイトル:** [空欄]
- 場所 (施設予約なし):** [空欄]
- 場所 (施設予約あり):** 〇 選択して下さい ↓ 第一会議室
- 内容:** [空欄]
- 優先度:** 標準
- 時間指定なし:**
- 登録** [ボタン]

参加費用と参加要件は？

- 組織活動支援システム「e-doyu」への参加費用

会員1IDにつき 月額50円 予定

- 参加要件

対 象 : 全国の中小企業家同友会

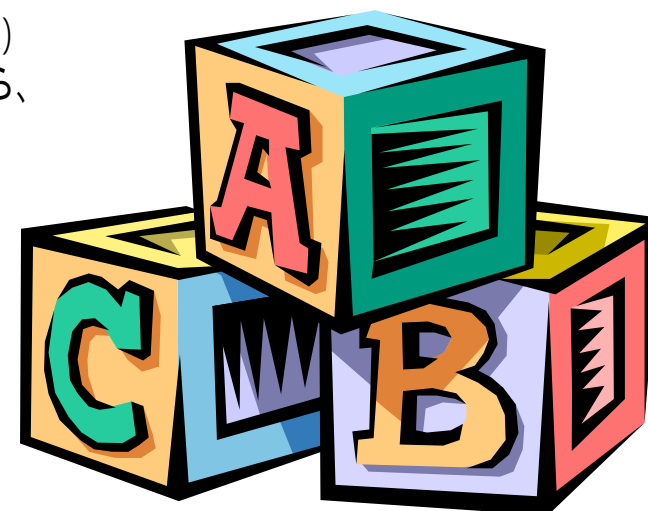
参加単位 : 中小企業家同友会の1組織単位

例: 全会員、役員組織(理事会・

支部役員・委員会役員)

ただし、情報の相互共有の観点から、

全会員に提供することが望ましい





愛知の実践から1 (会内170組織で運用)

- 中同協が提案している組織活動支援システムの活用実践事例として、愛知同友会「あいどる」の活用があります。
- 愛知同友会では2003年4月より「あいどる」を導入、2003年度163名、2004年度101名の各純増となり、現在2580名、170の組織が動いています。3000名へ向けて、会員自らの自主運営による着実な組織づくりにあいどるが大きく貢献しています。
- システムを独自に構築したため、「あいどる」システム費用として2002年から3年間で1000万円を会財政で負担。1同友会での開発は、費用負担から構築・維持にかかる労力など、大変です。

愛知の実践から2(会活動の円滑な運営に)

A地区には、理事会の情報がきちんと伝えられていて、地区会長の情報伝達能力も高く、運営も円滑。でもB地区では会長のところで情報がとどこおり、同友会全体の動きが迅速に伝わってこない。

同友会運動が多様化し、活動量が増えても、事務局員を増やすことができない。また、会員の細やかなニーズになかなかこたえられない。

……こんな経験から、愛知同友会内ではせめて同友会の最新情報だけは共有できるようにし、役員が担ってきた地区会運営実務を簡便にしようと生まれたシステムが「あいどる」です。(情報化推進プロジェクト長 高岡氏)



各会合の案内FAXがなくなり、関連実務量が減りました。事務局では各組織の状況が一望でき、これまでのファイルの蓄積や参加状況の蓄積で、活動状況の分析もできるようになりました。(事務局次長 内輪氏)

あいどるを使うためにパソコンを買った会員さんもいます。情報に会員自ら向き合う姿勢を持つことで、経営情報も積極的にパソコンを使って得られるようになったと聞いています。
(稲沢地区副会長 花木氏)



フェイスツーフェイスが何より大事ですが、忙しい中小企業経営者にとって、同じ場所、同じ時刻に全員が集まることは難しい。例会と例会の間に情報交換できるし、例会の参加状況の共有で「例会にこの人が参加するなら参加しよう」と参加促進にもなります。(北地区会長 田島氏)

だれが例会に来るのか、役員でも行ってみないと分からなかった。今は未返信の人に意識的に誘いかけもできるようになりました。ゲスト登録もできるので、知っている人がいると事前に増強へのフォローもできます。(花木氏)



役員が地区会などの組織、所属会員の状況を把握しやすくなりました。会員増強時に同友会を説明するときにも、「あいどる」を一緒に見ながらできるので、とても便利です。(田島氏)